

スカラモービル事故報告及び操作者への安全指導のお願い

1. 事故報告について

- ① 2024年2月、スカラモービルを使用し室内の階段を下りている途中で、昇降動作が止まる現象が起きた。
⇒原因は、左手が方向選択スイッチに触れてしまい自動停止したことによるものと推測される。
- ② 操作者は確認のために上方の踊り場へ戻ろうとし、必須の操作手順を失念してバランス保持を誤った。
⇒昇り方向に選択して上方踊り場に向かおうとした際、バランスは取ったものの上段の蹴上げに駆動タイヤを引き付けるのを失念し、駆動スイッチを押してしまったため、駆動タイヤが上段設置面に届かず段鼻に斜めに当たってしまい、本体が立ち上がった状態となりバランスを崩したと推測される。
- ③ スカラモービル本体と共に、利用者は10段スライド落下し負傷された。
⇒操作者が瞬間的に手を放してしまったため、利用者とともにスカラモービルがスライド落下したと考えられる。

2. スカラモービル操作者への安全指導のお願い

スカラモービルを安全にご使用いただくために、下記の点を操作者にご指導いただきたくお願い申し上げます。

(1) 不安定な状態になった場合の対応



図1

- ① 操作中にスカラモービルが立ち上がった状態になった場合や、自動停止したなど不安定な状態になった場合には、ハンドルから決して手を離したりせず、図1のようにスカラモービルを階段に横たえた状態（緊急停止状態）にしてください。

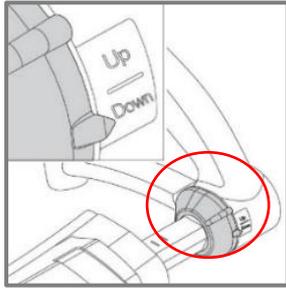


図 2

② 作動している駆動スイッチ (図 2) を一旦離してください。

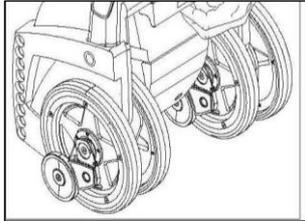


図 3

③ ゆっくりとスカラモビルを立ち上げ、内輪と外輪の 4 輪を揃えてください (図 3)

④ スカラモビルをバランスがとれるまで傾けてください。

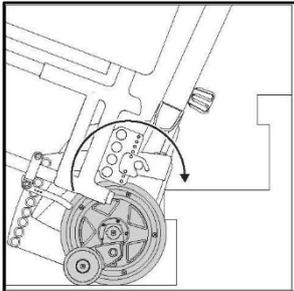


図 4

⑤ 昇りの場合は、次段の蹴り上げまで駆動輪をひきつけてから、駆動スイッチを押してください (図 4)

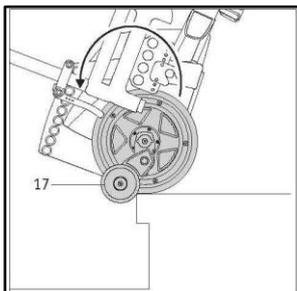


図 5

⑥ 降りる場合は、メカニックブレーキが効くまで慎重に段鼻に向かって動かしてから、駆動スイッチを押してください (図 5)

(2) シートベルト及び保護帽の着用

室内であっても、万が一の利用者の安全を図るため、シートベルト (図 6) と保護帽 (図 7) の着用は絶対に忘れないように指導をお願いします。



図 6



図 7